



兵庫県支部創立130周年を迎えるにあたって

日本赤十字社兵庫県支部 事務局長 大久保博章

明治23年8月に日本赤十字社兵庫県支部は創立されました。この間、先の大戦や度重なる災害における諸先輩の奮闘ぶり、それを支えていただいた県民の皆様方のご支援を思うとき、感謝と敬意の念に堪えません。

明治、大正、昭和、平成と変わる時代の中で、支部の活動を担ってこられた諸先輩方は、今の私たちを見てどう思われるだろう。「戦争のない平和な日々のなかで、赤十字活動も安泰だな。」と言っただけか。「100年たっても赤十字活動が県民に浸透していないじゃないか。」「赤十字活動に参加する青少年が減少しているじゃないか。」と叱られるのか。

130年という時の流れに思いをはせながら、1人でも多くの方々に赤十字活動を知っていただき、参加いただけるよう、今できることをやっています。

創立200周年を迎える70年後の後輩から「令和になって、時代を先取りした活動に取り組んだから、兵庫県はどこよりも赤十字活動が盛んなんだなあ。」と評価してもらえるように。



応募者プレゼント

日本赤十字社兵庫県支部の協賛企業、ネスレ日本株式会社様より、「キットカット ショコラトリールビー ギフトボックス 5本入り」を5名様にも！ たくさんのご応募、お待ちしております！

抽選で5名様

社名

ネスレ日本株式会社

ネスレ日本は、少子高齢化が進む成熟先進国の日本における「新しい現実」の中で、お客さまが抱える問題を発見し、製品やサービスを通じてその問題を解決することに取り組んでいます。皆さまから信頼される企業となるため、これからも日本の社会問題の解決を通じて、生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献してまいります。

商品名

キットカット ショコラトリールビーギフトボックス 5本入り<チョコレート>

ビター、ミルク、ホワイトに次ぐ、新しいチョコレート ルビーが5本入ったギフトボックス。着色料を一切使わない、厳選されたカカオ由来の鮮やかなピンク色と、ベリーのようなフルーティーな酸味をお楽しみください。



応募方法

①氏名②郵便番号③住所④性別⑤年齢⑥電話番号の本誌でよかつた記事(複数回答可)をメールまたははがきでご応募ください。抽選でプレゼントが当たります！**メ切りは2020年1月31日必着**。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。※いただいた個人情報(プレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します)。

メール so-mu-ka9889@hyogo.jrc.or.jp ★件名に「応募者プレゼント」とご記入ください。
はがき 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5 日本赤十字社兵庫県支部 応募者プレゼント係



「1.17は忘れない ひょうご安全の日のつどい」に参加します

阪神・淡路大震災から25年の節目を迎えるにあたり、「震災を風化させないー『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』」を基本コンセプトに、兵庫県では阪神・淡路大震災の経験と教訓を広く発信し、次の大災害への備えや対策の充実につながる事業を展開しています。

兵庫県支部でも、震災の経験と教訓をいつまでも忘れることなく、様々な災害や事故を想定した訓練、研修会、救急法講習の普及などに取り組んでおり、1月17日「ひょうご安全の日のつどい」に今年も参加します。



日時:令和2年1月17日(金)

場所:HAT神戸 なぎさ公園周辺(神戸市中央区脇浜海岸通)
兵庫県赤十字奉仕団による豚汁提供と救急法ミニ講習他

兵庫県支部社屋1階駐車場では、1.17メモリアルウォーク参加者の休憩場所となっており、毎年お味噌汁を提供しています。昨年に引き続き、ネスレ日本株式会社様にご協賛いただき、「ネスカフェゴールドブレンドバリスタ」コーヒーとキットカットも提供させていただき予定です。



ぜひご来場ください!

講習のご案内

救急法基礎講習 (1日の講習)	3月20日(金・祝) 13:00~17:30
救急法救急員養成講習 (2日間の講習)	2月29日(土)・3月1日(日) 9:30~17:30
幼児安全法支援員養成講習	2月22日(土)、23日(日) 9:30~17:30

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

講習に関するお問い合わせは、お電話またはホームページで

Tel.078-241-1499

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 http://www.hyogo.jrc.or.jp/

ひょうごの赤十字 1月号 [2020年1月1日発行]

ひょうごの赤十字+

2020
1

いのちと健康を守る活動にご協力感謝いたします。



日本赤十字社兵庫県支部 支部長(兵庫県知事)

井戸敏三

令和2年 新春メッセージ

令和新時代 復興の、その先へ

新年あけましておめでとうございます。

阪神・淡路大震災から間もなく25年を迎えます。この間、国内外の人々が驚くほどの創造的復興をなしとげました。しかし、危機に陥った財政の建て直しに取り組みざるを得ないなど、苦難の連続でした。令和の時代の到来とともに、新たなステージへのスタートを切る環境が整いました。

25年の節目を機に改めて原点に立ち返り、震災の経験や教訓を忘れず、伝え、これを活かし、しっかりと備えていきます。

この安全安心の基盤の上に、2030年の展望の具体化を図り、すこやか兵庫づくりに取り組み、未来へのシナリオをしっかりと進めていきます。

第1は、安全安心な兵庫の構築。南海トラフ地震や風水害へ備え、安全な県土を築きます。2025年問題に対応するための在宅医療・介護体制の充実や地域医療の確保など、安心して暮らせる基盤をつくります。

第2は、地域の元気づくり。人口流出に歯止めをかけ、社会減を解消し、自然減を縮小する人口対策に取り組めます。次世代産業の創出を支援し、起業しやすい環境を整えます。農林水産業の基幹産業化も推進し、活力ある兵庫をつくります。

第3は、交流・環流の促進。五国の魅力を活かし、観光交流、スポーツツーリズムを推進し、交通インフラの整備を加速させます。三宮再整備や県庁舎の建替などまちの再生を急ぎます。

私たち兵庫は、震災という誰も経験したことのない試練を丸一となって乗り越えてきました。復興のその先の新たなステージでも、課題に対して果敢に挑み、ともに手を携え、すこやかな兵庫の実現をめざしましょう。

平成から令和へ 新たな時代に すこやか兵庫を めざし歩まん

- ALL HAT 2019 with 赤十字HATふれあいフェスタを開催
- 令和元年度兵庫県日赤有功会視察旅行レポート
- 令和元年兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催
- 兵庫県支部創立130周年を迎えるにあたって
- 姫路市総合防災訓練に参加しました
- 「1.17は忘れない ひょうご安全の日のつどい」に参加します
- 応募者プレゼント

ALL HAT 2019 with 赤十字HATふれあいフェスタを開催

HAT神戸地域の住民と協力団体による防災イベント「ALL HAT 2019 with 赤十字HATふれあいフェスタ」が、10月26日(土)に人と防災未来センター屋外広場、HAT神戸内の赤十字施設、なぎさ公園を会場として開催されました。

日本赤十字社兵庫県支部では、創立130周年のプレイベントとして、神戸赤十字病院、兵庫県赤十字血液センター、兵庫県災害医療センターと協働し、赤十字ボランティアや企業等のご協力を得て共催参加させていただきました。

10時のイベント開始直後は来場者の出足が遅めかと思われましたが、まもなくたくさんの人によって会場が埋まり、各コーナーでは順番待ちの列が見られました。赤十字では、子ども参加型、親子参加型、展示イベントなど16のコーナーを設けましたが、非常食カフェ(ポローニヤパン、カレー等の配付)、お菓子を使った薬局体験、献血バス乗車体験など、赤十字ならではのコーナーに特に多くご来場いただき、来場者数は延べ2,400人を超えていました。

これからもさまざまな機会を通して、赤十字を身近に感じていただけるよう努めてまいります。



令和元年兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催

11月1日、兵庫県公館にて「令和元年兵庫県赤十字有功章等贈呈式」を開催しました。

本式典は、日本赤十字社の活動のために多額の活動資金や奉仕活動、献血などで日頃からご協力いただいている方々に感謝の意を表し、日本赤十字社や国の表彰を贈呈(伝達)しています。

式典では、井戸支部長(兵庫県知事)の挨拶の後、壇上で29名の方々に表彰状や感謝状が授与され、笑顔で感謝状等を受け取られていました。

今回は、全部で492の個人、法人・団体の方々に受章いただきました。

式典に引き続き、記念公演では、兵庫県青少年赤十字加盟校である親和中学校・親和女子高等学校のコーラス部37名に、温かく優しい女声コーラスを披露していただきました。「ジブリメドレー」や「荒城の月」など世代を超えて親しまれている曲を合唱いただき、会場の皆さんも一緒に口ずさむ様子が見られました。



式典の司会を担当した兵庫県立明石高等学校放送部の藤本慎羅さん(右)と山名麻結さん(左)

姫路市総合防災訓練に参加しました

11月10日(日)、南海トラフ地震が発生し、姫路市においても最大震度6強を観測し、兵庫県瀬戸内海沿岸に津波警報が発表されたという想定のもと、姫路市総合防災訓練が実施されました。

姫路赤十字病院の救護班は、メイン会場のエコパーク網干に医療救護所を立上げ、姫路市内の災害拠点病院の医療チームや消防・自衛隊などの防災関係機関と連携して、多重事故現場や倒壊家屋現場などから次々に搬送されてくる重症の傷病者の対応にあたりました。

今回初めて災害医療の訓練に参加したという姫路赤十字病院研修医の久保田医師は、「救護所では、いろんな機関と連携して活動していることがわかり、とても新鮮でした。テントの中では、日赤だけでなく、他の医療機関のチームとも協働し、また、処置するスタッフ、搬送するスタッフが入り乱れて、正確な情報を伝えることが難しかったです。」と話しました。

赤十字では、今後もこのような訓練に定期的に参加し、災害現場でもスムーズに連携しながら活動できるよう努めていきます。



令和元年度兵庫県日赤有功会視察旅行レポート

振興課 佐藤由利菜

皆様こんにちは、振興課の佐藤です。有功会の事務も担当しております。兵庫県日赤有功会(以下、有功会)は、赤十字に対し多大の尽力をされた事により、赤十字有功章を受章された方々で構成される組織で、

- 昭和40年の発足当初より、赤十字活動を側面から支え続けてくださっています。
- この度、私は10月23日から25日にかけて、有功会の視察旅行に随行させていただきました。今年の旅行には22名が参加され、佐賀県と長崎県を訪れました。
- 初日に訪問した佐野常民記念館では、幕末佐賀藩の物語を映像で楽しめるドーム型のシアターや、三重津海軍所跡の様子をVRで体感できる「みえつSCOPE」等、最新の機器を使用しながら館内を見学しました。また、館長には非常に熱のこもったガイドをしていただき、その説明には「思わず引き込まれてしまった。」との声も多く聞かれました。
- 参加者には、日赤の創設者である佐野「常民」から一文字とって、「常〇」様(ご姉妹は「民〇」様とおっしゃるそうです。)と名付けられた方がいらっしゃり、お名前前の示す通り赤十字と関わりを持たれていることに感銘を受けました。
- 記念館の見学後、日赤佐賀県支部との交流会を開催し、佐賀県赤十字有功会の事業や、今年の豪雨災害による被災地での救護活動等についてお話を伺いました。
- 有功会の皆様には、日頃から赤十字活動に多大なるご理解とご協力をいただいておりますが、この旅行中に、「生涯、赤十字を応援する。」「今後の人生は赤十字を通じて人のために尽くしたい。」などの熱い思いをお伺いし、改めて皆様の赤十字への愛を感じると共に、職員として身の引き締まる思いでした。
- 来年は、日本赤十字社兵庫県支部創立130周年の記念の年ということで、海外の赤十字関係施設を訪問する予定です。



いのちと健康を守る赤十字活動は
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
〒 口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは☎078-241-8921(振興課)まで